

Course number	U-LAS70 10001 SJ50				
Course title (and course title in English)	ILASセミナー：日本近世地域史入門 ILAS Seminar: Introduction to Japanese Early Modern Regional History	Instructor's name, job title, and department of affiliation	Graduate School of Letters Associate Professor, MIYAKE MASAHIRO		
Group	Seminars in Liberal Arts and Sciences	Number of credits	2	Number of weekly time blocks	1
Class style	seminar (Face-to-face course)	Year/semesters	2024・First semester	Quota (Freshman)	5 (5)
Target year	Mainly 1st year students	Eligible students	For all majors	Days and periods	Tue.5
Classroom	Miyake Laboratory, 2nd floor, Faculty of Letters Exhibition Hall (Main Campus)			Language of instruction	Japanese
Keyword	日本史 / 日本近世史 / 地域史 / 史料				

[Overview and purpose of the course]

この授業では、日本近世（概ね江戸時代に相当）における地域の歴史を調査・研究するための方法論を学ぶ。各自で特定の地域を選んで調査・研究し、成果を発表してもらうことになる。

日本近世史において、地域から考える視角は非常に重要である。日本近世は、全国各地で膨大な文書が書かれて蓄積された時代であり、現在まで、未発見のものも含めて大量の古文書が全国各地に伝来している。国家史や政治史といった中央の歴史からだけではなく、身近な地域の人々の有り様から歴史を考えることも大切である。地域の視点から、近世社会の特質とその歴史的展開を考え、全体像を見通す方法論を学び、楽しんでもらいたい。故郷の歴史を探究するもよし、全く縁のない地域を取り上げるのもまた、様々な魅力があるだろう。

[Course objectives]

- ・日本史学の基礎的な調査・研究の方法を学ぶ。
- ・地域の視角から歴史を考える方法論と意義を学ぶ。

[Course schedule and contents]

基本的に以下のプランに従って授業を進める。ただし、受講生の興味関心や調査・研究の進度に応じて、順序や内容を変更することもある。

- 第1回 授業の進め方の説明
- 第2～5回 地域の選定と参考文献・史料の確認
- 第6～10回 途中経過報告会
- 第11～14回 最終成果報告会
- 第15回 総括討論とフィードバック

授業は、全員に数回ずつ報告してもらいながら進める。報告に際しては十全な事前準備が必要となる。また、他者の報告を聞いて討論することになるので、積極的な発言が求められる。調査・研究成果は、レポートにまとめて提出してもらう。

ILASセミナー : 日本近世地域史入門(2)

[Course requirements]

次の要件を満たすこと。
高等学校等で日本史Bを履修したこと
日本近世史に強い関心があること

[Evaluation methods and policy]

調査・発表(40点)、討論への参加(10点)、期末レポート(50点)

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

(References, etc.)
Introduced during class
各自の研究テーマに合わせて適宜紹介する。

[Study outside of class (preparation and review)]

選択した地域・テーマにもとづいて調査・研究を進め、担当日に間に合うように授業で発表する準備をすること。

[Other information (office hours, etc.)]

授業を実施する場所(研究室)の収容力の関係から、受入人数は5人に限定する。
初回の授業で授業の進め方を説明し、2回目の授業で担当地域を決めるので、必ず出席すること。